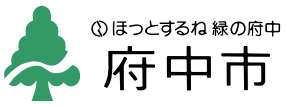
府中市の環境の歴史

昭和 29年 (1954)	府中市制施行
33年 (1958)	二枚橋塵芥焼却場の操業開始
35年 (1960)	新市庁舎完成
36年 (1961)	ラジオ・テレビ雑音防止協力会を設置
42年 (1967)	緑の箱を試験的に設置
44年 (1969)	衛生課公害係を設置
45年 (1970)	衛生課から環境整備課に名称変更
	市の自然調査を実施
	市内で光化学スモッグ被害が初めて発生する
	大気汚染濃度の測定を開始
	東京都公害防止条例が委任される
	市内大工場(6企業)と公害防止協定を締結
	市内の産米中にカドミウムを検出
	府中保健所がカドミウム住民検診を実施
	府中市公害対策本部要綱を制定
46年 (1971)	水質分析室を設置
	大気汚染測定車による測定開始
47年 (1972)	「府中市自然環境の保全および育成に関する条例」制定
	「府中市中高層建築物に関する指導要綱」制定
	「府中市開発行為に関する指導要綱」制定
	「府中市公害防止資金融資措置要綱」制定
	光化学スモッグ対策で酸素吸入器を配備
	樹木調査と樹木保存奨励制度発足
	自然環境市民会議が発足
	府中市に東京都の大気監視測定局を設置
48年 (1973)	「府中市公害防止要綱」制定
	立川段丘崖の一部を市が買収
	市内大手企業(8企業)と緑化協定締結
49年 (1974)	府中市が引き続きカドミウム住民検診を実施
	環境整備課から自然環境課に名称変更
	第1回多摩川清掃市民運動始まる
	市民花壇第1号を朝日町に設置
51年 (1976)	四谷清掃工場が稼働
	第1回府中をきれいにする市民運動始まる
54年 (1979)	緑のマスタープランが完成
	資源再生利用補助金制度が発足
55年 (1980)	公共施設での有リン洗剤を使用中止
56年 (1981)	ホタルの養殖成功
57年 (1982)	市内水道用井戸からトリクロロエチレンを検出
58年 (1983)	自然環境課から環境保全課に名称変更
	市内事業所(26か所)と環境保全協定を締結
59年 (1984)	三多摩地域廃棄物広域処分場が開設
	四谷小、第八中でイネ科の植物による花粉症が発生
	デポジット・リファイル・システムの導入
61年 (1986)	環境測定車「おおぞら号」が稼働
62年 (1988)	市が「緑の都市賞」(主催(財)都市緑化基金、読売新聞社)を受賞
平成 2年 (1990)	押立町、武蔵台に大気汚染測定局を設置
	「建築物等の工事に伴うアスベスト飛散防止対策指導要綱」制定に伴い、市に委託される
	多摩川清掃市民運動実行委員会が第1回全国「みどりの愛護」建設大臣賞受賞
	市民による酸性雨調査を実施
3年 (1991)	教育センターに酸性雨自動測定機を設置
	「ふちゅうグリーンフェスティバル91」を開催
	東京農工大学と酸性雨共同研究を実施
	東京都より大気汚染同時通報受信装置37台を移管される
	大気汚染同時通報受信装置15台を購入
4年 (1992)	四谷に大気汚染測定局を設置
	第1回ラブリバー多摩川実施
	飼い犬、飼い猫の去勢・不妊手術費の一部助成制度開始
5年 (1993)	朝日町に大気汚染測定局を設置
	雨水浸透施設70基を市内に設置
6年 (1994)	雨水浸透施設88基を市内に設置
	地下水のばっ気処理装置を設置し浄化開始
7年 (1995)	雨水浸透施設設置助成制度開始
11年 (1999)	「府中市環境基本条例」制定
	府中市環境審議会設置

平成 11年 (1999)	大気汚染測定車を購入
	府中市緑の基本計画策定
12年 (2000)	府中市環境基本計画素案検討会設置
13年 (2001)	府中市職員エコ・アクションプラン策定
14年 (2002)	ISO14001の認証の取得(府中市役所本庁舎、府中駅北第2庁舎、府中市立中央図書館)
	飼い主のいない猫の去勢・不妊手術費の一部助成制度開始
15年 (2003)	府中市環境基本計画策定
	「府中市まちの環境美化条例」制定
16年 (2004)	府中市環境行動指針策定
17年 (2005)	ISO14001の認証を更新
	府中市エコハウス設備設置助成制度開始(同時に、雨水浸透施設設置助成交付要綱廃止)
18年 (2006)	第1回「府中環境フェスタ」の実施
	府中市環境推進協議会設置
	第2次府中市職員エコ・アクションプラン策定
19年 (2007)	「リサイクル＆環境フェスタ」(第2回環境フェスタ)の実施
20年 (2008)	ISO14001の認証を更新
	環境保全課から環境政策課に名称変更
	お瀧湧水復活事業で、雨水浸透施設109基を市内に設置(公園に8基)
	西府駅北公衆トイレ設置
21年 (2009)	「～あきかん～第1回府中エコ博」の実施
	府中市緑の基本計画2009策定
22年 (2010)	庁用車として電気自動車(愛称:エコちゅう)を導入
	第1回市民セミナー「地域で考える～飼い主のいない猫」の実施
23年 (2011)	府中市地球温暖化対策地域推進計画策定
	ISO14001の認証を更新
	第3次府中市職員エコ・アクションプラン策定
	組織改正によって環境政策課に自然保護係が編入される
	テレビ放送が地上波デジタル方式に完全移行
	府中市環境保全活動センターを開設
	東日本大震災に伴う放射能測定
	姉妹都市佐久穂町とのカーボンオフセット事業の実施
24年 (2012)	自動車騒音常時監視等が権限移譲により業務開始
	「府中環境まつり」の実施
25年 (2013)	テレビ送信を東京タワーから東京スカイツリーに全面移行
	環境安全部から生活環境部に名称変更
26年 (2014)	第2次府中市環境基本計画策定、府中市環境行動指針策定
	ISO14001の認証を更新
27年 (2015)	府中市生物多様性地域戦略の策定
	環境保全活動センター担当副主幹の配置
28年 (2016)	第4次府中市職員エコ・アクションプラン策定
	環境マネジメントシステムの大幅改定
	府中市エコ・ハンドブック作成
	府中市空家等対策協議会設置
29年 (2017)	府中市地球温暖化対策地域推進計画の中間見直し
	ISO14001の認証を更新
	府中市シルバー人材センターと「空家等の適正な管理の推進に関する協定」を締結
30年 (2018)	自立型ソーラースタンドを3基設置(多磨駅1基、府中郷土の森博物館2基)
	ISO14001規格の適合を自らの責任で決定する「自己適合宣言」を実施
	府中市空家等対策計画策定
	府中駅西公衆トイレ(だれでもトイレ／現:バリアフリートイレに改称)設置
	大気汚染測定車を購入
	押立町、四谷の大気汚染測定局を廃止
31年/令和元年 (2019)	東京都宅地建物取引業協会府中稲城支部と「路上違反屋外広告物の除却に関する協定」を締結
令和 2年 (2020)	府中市緑の基本計画2020策定
	武蔵台緑地 植生管理ガイドラインの発行
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種事業の中止・縮小を行う
	府中市武蔵台浄水所の原水から有機フッ素化合物「PFOS」及び「PFOA」を検出
令和 3年 (2021)	ゼロカーボンシティ表明
	市内大手企業4社(東芝、サントリー、NEC、キユーピー)及び東京農工大学と「府中市における2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた協働に関する地域協定」を締結
	第2次府中市空家等対策計画策定
令和 4年 (2022)	第3次府中市環境基本計画策定
	第5次府中市職員エコ・アクションプラン策定
令和 6年 (2024)	東京ガス株式会社及び東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社と「ゼロカーボンシティ実現に関する連携協定」を締結
令和 7年 (2025)	Terra Charge株式会社と「次世代自動車充電設備の普及に関する協定」を締結

府 中 の 環 境

発行日/令和8年10月　編集・発行/府中市生活環境部環境政策課
〒183－8703　東京都府中市宮西町2丁目24番地
電　話　(042)364－4111(代表)、(042)335－4195(直通)
ホームページ　https://www.city.fuchu.tokyo.jp/
E メールアドレス　kankyo01@city.fuchu.tokyo.jp


ほっとするね 緑の府中
府中市